

謹賀新年

新しい年を多くの仲間と共に迎えることが出来、嬉しく思います。昨年は様々な諸課題、組合活動にご理解、ご尽力を賜り、誠に有難うございました。とりわけ組織拡大運動につきましては、分会幹部を始めとした多くの活動家の皆様の昼夜を問わず行動して頂いた事もあり、一昨年に続き春秋の月間目標を達成できたことに心より感謝申し上げます。建設産業における情勢は大変厳しい状況にあります。建設業就業者数は2年連続で減少しています。人手不足や物価高が原因の倒産件数も前年を上回っています。

巳

昨年は、皆様に取り組んで頂いた全建総連100万人署名の成果もあり、第3次担い手3法やフリーランス新法等が成立しました。すべての労働者が安心して働ける、若い人から魅力に見える、夢や希望を持って就業出来る建設産業にしていかなければなりません。それには国や自治体、大手企業、そして我々労働組合も力を合わせて取り組む事が重要です。

蛇

私達の生活を取り巻く情勢でも、実質賃金は下がるばかりで、目に見えるすべての物が値上がりしている様に感じます。電気やガス、ガソリン等のエネルギー価格の高騰や、米を始めとした食品も値上げの連続です。社会保障の課題も山積しています。年金制度や介護保険の改悪も今後待ち受けています。一人一人が安全で安心して仕事が出来、生活出来るように平和問題も取り組んでいかなければなりません。

今年も諸課題で先頭に立ち、仲間の皆様と共に取り組んでいきたいと思えます。その為にも分会や群の活性化は必須条件です。活動家不足、役員不足にも全員で意識しながら、力を合わせて奮闘していきましょう。2025年も組合活動に御理解ご協力をお願い致します。



津田委員長

五箇谷副委員長



今年度、賃金・労働対策部長を初めて担当しました。賃金活動は、持続可能な実現に向けた100万人国会請願署名に取り組み、6月の参院本会議で採択され、建設労働者の処遇改善

後継者対策部



あけましておめでとうございませう。

昨年は後継者対策部員も各分会から選出でき、新しい若い世代の部員の参加も増え、活発な部会運営がで

に向けた担い手三法改正案が成立し、魅力ある建設業の実現に大きく前進しました。これを受けて請求・要求の運動で賃金・単価の交渉がすすんで7割で引き上り、要求が進んだ年になりましたが、物価上昇に追いつかない現状もあります。公契約条例は荒川区ではまだ制定されていませんが、11月の区長選挙で新しい区長に代わり、制定に向けて扉を開いていきたいと

思います。10月27日衆議院選挙で与党が過半数割れになりました。10月1日から東京では最低賃金が1163円となりましたが、収入103万円で扶養控除が受けられなくなるので、働く日数を調整している人が多く、控除額を増やすことが国会で議論されました。労働対策の取り組みでは、働き方改革法案が成立して、時間外労働上限規制が適用され、建設業の現場

で週休二日制が取り入れ、労働環境改善が進みました。アスベスト訴訟の裁判所前行動に参加しました。アスベスト第1陣の差し戻し判決が出て、和解案が提示されました。昨年は怪我をきっかけに仕事を引退したので、多くの組合行動に参加をしました。今年の3月で支部役員を定年退任しますので、若い役員さんの後押しをしていこうと想います。

ザ・レディーズ荒川相楽会長



組合員ならびにご家族のみなさま、会員のみなさまにおかれましては、清々しい新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年は6月に政府より「女性版骨太の方針」が決定され、①企業等における女性活躍の一層の推進、②女性の所得向上・経済的自立に向け

た取組の一層の推進、③個人の尊厳と安心・安全が守られる社会の実現、④女性活躍・男女共同参画の取組の一層の加速化などが盛り込まれました。これからの女性の地位向上に期待するとともに、今年も会員のみなさまと一緒に運動を継続し、前進を勝ち取るため、ご協力をお願いいたします。

今、日本の経済は厳しく不明な状況にあります。ウクライナ、パレスチナ問題、円安、物価の上昇、北朝鮮のミサイルなど問題が

荒友会磯部会長



荒友会も今年で創立22周年を迎えました。65歳以上の集まりではありますが、会員皆元気で仕事と趣味に勤しみ、また組合活動に積極

的に参加しています。結びづくりdaysではセンターに集まり、組合員訪問、チラシ配布にチラシをそいでいます。春の住宅デー、秋のいきいきまつり、駅頭宣伝などに積極的に参加して荒川支部の活動や行動も支えています。昨年9月には、浅草まつりとして、浅草まつり湯に参加20人で行って来ました。今年も楽しい企画を考えております。そのような荒友会ですが、皆さま応援よろしくお願ひします。今年もカンパります。

ひと息



野府記(写本) 年月日/天元5年(978年) (長元5年(1038年) 著者/小野宮実資 所蔵/国立公文書館(内閣文庫)

令和6年大河ドラマ『光る君へ』は面白かったね。藤原実資役のロバート秋山さん、ハマっていました。最近、藤原実資の日記『小右記』関連本の売れ行きが好調らしい。これだけドラマが面白ければ、本も読みたくなるってものだ。『小右記』の原本は伝わっていない。写本がいくつが残っているのみ。しかも途中で欠巻もあるとのこと。貴重な資料を残すということは、難しいんだね。個人の日記を写本で残すっていうのも、どうかと思うけど。国立公文書館デジタルアーカイブで『野府記(小右記の別称)』の写本を見ることが出来ます。だけど、いかんせん漢文で書かれているので、長年日本人やっついていても全然読めない。どうして高校で漢文の授業を受けたのに読めないんだろ。そういえば古文の授業で『源氏物語』もやったけど、全然内容が入ってこなかったもんなあ。

【東尾久一 藤川直樹】

民主主義をあきらめず、暮らしを守れ 浅草 世直し雷大行進

【竹達浩記者II南千住】

世界にコロナウイルスが発生してから早5年の歳月が過ぎても終息が見えず、さらにロシアによるウクライナ侵攻で世界経済が混乱に陥り、価値観の分断が進行しています。

国内情勢は、自民党のパーティー券売上目標余剰金のキックバックで裏金化が王道進行。もはや司法立法が行政を押しさえられない体たらく。世相には、それを模倣してか、特殊詐欺が横行し闇バイトが花盛り。こんな世の中に誰がしたの？

さる12月8日、足立区・荒川区・台東区・墨田区・葛飾区・江戸川区・江東区



音色に合わせて行進する参加者

024世直し雷行進」が、陽気なチンドンの音色に合わせて浅草寺周辺を行進しました。行進出発前の花川戸公園での集會で、実行委員長の田中茂氏(足立西民主商工会会長)



荒川分会は忘年会と餅つきで賑わう

12月20日、町屋の養老乃瀧で忘年会を行いました。参加は13人でした。有馬記念の予想を共有して、どこかの馬に入れるか話に花が咲きました。来年は屋形船をやりたいと話が盛り上がりつつありました。



良い年になりますように！

12月29日は恒例の餅つきを鈴木裕子さん宅で行いました。



皆さんとても楽しそうでした

各地域で忘年会

来年度の話で盛り上がる

南千住分会

【竹達浩記者II南千住】

南千住分会の忘年会は、12月1日午後6時から南千住駅前前の居酒屋「さかなや」で、参加17人(男性11・女性6)で開かれました。店のテーブル配置の都合上、男性班、女性班、男女混成班の3グループに分かれました。

その問題とは、従来の群会議の在り方(全てとはいわない)は、組合費納入と頒布物を受け取ってすぐ帰る人が多かった。今後、組合費が引き落としになり、群会議で組合費納入という必須要件がなくなり、群会議出席率の低下が危惧され

を廃止しよう」と訴えました。全日本年金者組合東京都本部書記長の田端二三男氏は、「都区部の消費者物価指数は39カ月連続して上昇し、公的年金は過去12年間で実質7・8%も減額しています。いま働いている現役世代にも安心できる年金制度に改善を」と訴えまし

合会常任委員の斎藤敏之氏、日本共産党の吉良よし子参院議員、斎藤まりこ都議、足立区、台東区、墨田区、葛飾区の区議や、れいわ新選組の区議も参加。吉良氏は「世直しするには一人一人の声、行動こそが大切。民主主義をあきらめず、暮らしを守れと大きな声を上げ、政治を変えよう」と大きな声で呼びかけました。

頑張った仲間をねぎらう

団結誓う日暮里1分会



【堀井龍二記者II日暮里】12月7日(土)18時に荒川警察署の道路を挟んだ真向かいの「徳勝楼」で日暮里1分会の忘年会が開催されました。初めに小谷野浩亨分会長の挨拶で、参加者へ忙しいのに参加していただいたことへの感謝の言葉がありました。また、乾杯の一言では「これから一緒に分会を盛り上げましょう！」とお話しされました。



皆で頑張ります

引き落とし問題は、試行したばかり。メリット・デメリットも含めて、試行錯誤しながら「模索」し続けていかなければならないのかもしれない。

町屋南分会



皆で集合写真撮りました

町屋南分会では、恒例行事である忘年会を開催しました。来賓含めて10人の仲間が集まったのは、町屋

駅近くの鶏居酒屋「でかのれん」です。リーズナブルな価格で美味しい鳥料理が食べられるお店へ早くに集まった仲間、我慢できずに開始前にまず1杯。時間となり、お役目1年目の針谷義行分会長から分会の仲間へ感謝を伝えて乾杯しました。

各々プライベートから仕事の話など様々な話題で盛り上がりました。参加していた地域の区議さんとは、組合と新区長となった今後の荒川区について、真面目に話し合いました。話に花が咲き、予定時間を少し越えたところでお開きとなりました。1年の締めくくりを楽しく過ごした仲間達は、来年も共に頑張ろうと誓いあいました。

東尾久2分会



盛り上がりました

東尾久2分会の忘年会は毎年多くの組合員さんが参加してくれます。今年は東尾久1分会から5人が参加しました。恒例のビンゴゲームでは最初はなかなかビンゴが出ませんでした。最後にカラオケで思い思いの歌をうたい、東尾久1分会のみなさんは歌と踊りのパフォーマンスで盛り上げてくれました。

漢の一人旅 パート2

那智勝浦で マグロを食べてみた

東尾久一 小熊賢一



心に刻まれた、熊野古道

いざ、那智勝浦へ

仕事も落ち着いていて、夜の予定（組合や青少年育成地区委員会など）が入っていない週を待ち続けて11月になってしまった…。この時を逃したら、念願の那智勝浦へ行くことなど叶うはずはない。1週間前に、日本一の宿・ホテル浦島へ4連泊で予約を入れた。

今度も目的地まで高速道路は使わない（無料の場合はOK）。11月17日の群会議が終わってから夜9時に出発する。国道246号をひたすら沼津方面、西へ向かう。日曜日の夜でも工事で渋滞、都内を抜けるのに1時間以上かかってしまった。御殿場辺りで県道23号に入り、暗闇の富士山のす

そ野を走り、国道139号から国道1号に入る。東名高速と並行して走る日本で初めの国道は超快適だ。富士市〜浜名湖間は、街中以外は信号もほとんどなく、夜中なので止まることはまれである。

愛知県の渥美半島の先端でフェリーに乗って、三重県の鳥羽まで渡る。東京から伊良湖港までは約400km。途中の道の駅で仮眠をとり、朝7時前にフェリー乗り場へ到着。正味7時間のドライブだった。始発8時10分の便で鳥羽へ向けて1時間の船旅。

日本一のホテル

さて、今回宿泊したホテル浦島。なぜ日本一の宿かと言うと、まず温泉がとてつよい。何が良いかと言うと、海を見ながら、にぎり湯に入れることが素晴らしい。泉質は、含硫黄ナトリウム・カルシウム塩化物温泉で、PH7.3の中性のお湯。この湯は時間や環境によって薄灰色、薄緑色、薄青色に変化する。新鮮な無色透明の湯もある。硫黄泉と塩化物泉の合体で容量物質が7000mg以上もあるから、温泉効果も抜群なのだ。



送迎の亀の船
これに乗るのが、とても楽しい

える。ホテルの食事はバイキングなので、好きなだけ食べられる。味も良いし、種類も豊富。自慢のまぐろも食べ放題、赤身だけどね。

半島にホテルが建っているのので、海はほとんどの部屋から見る事ができる。朝日が見たいなら太平洋側、熊野の山に沈む夕日と入り江が見える側に分かれている。東京ドーム4・5個分の敷地には、本館、なぎさ館、日昇館、山上館に分かれていて、1700人が宿泊可能。私は太平洋側の部屋だったので、宿泊中4日間のうち3日は晴れて、水平線から昇る綺麗な朝日が見られました。

温泉が良くて、食べ物も美味しくて、景色も良い。三拍子そろっているから日本一と思っているが、やっぱりメインは温泉かな。泉質がいいところは他にもあるが、この雰囲気はたまらなくお気に入りなのだ。面白いのは、ホテルの駐車場からだとマイクローバスで送迎になるが、港からカメの船に乗ってホテルに入ることもできる。チェックイン、アウトの時間しかカメの船は動いていないので、それに合わせて南紀勝浦の街を散策すると良い。カメに乗って竜宮城へ行くみたいでテンションも上がること間違いなしだ。

世界遺産

ホテルから車で10分ほどのところに熊野古道（大門口）がある。熊野古道にはいくつもルートがあるが、行くまでの交通が便利で難所でもないこの場所は、けっこう人気がある。たしか世界遺産に登録されて20年って書いてあった。大きな駐車場（無料）に車を止めて、歩く。歴史を感じさせる石畳の道や階段が続く。



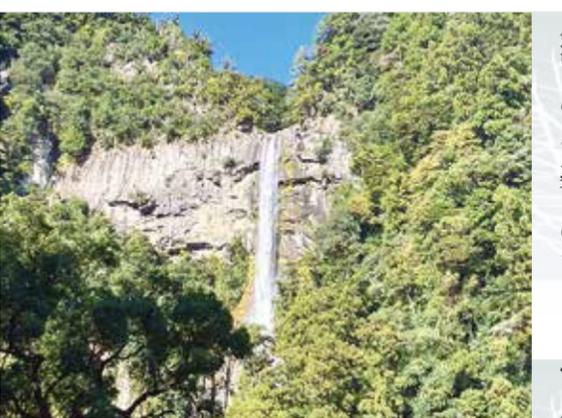
客間からの朝日

林の中を歩くのは、とても気分が良い。熊野古道を過ぎると、熊野那智大社へつづいて、ひたすら階段をのぼる。たどり着くと神々しい山々に囲まれて、とても清々しい気持ちになる。だいたい熊野古道から、ゆっくり歩いて1時間くらいか

あるが、この雰囲気はたまらなくお気に入りなのだ。面白いのは、ホテルの駐車場からだとマイクローバスで送迎になるが、港からカメの船に乗ってホテルに入ることもできる。チェックイン、アウトの時間しかカメの船は動いていないので、それに合わせて南紀勝浦の街を散策すると良い。カメに乗って竜宮城へ行くみたいでテンションも上がること間違いなしだ。

な。お参りが済んだら、那智の滝へ向かう。滝の入口付近は、食事処やお土産屋さんがあって、けっこう賑やか。

那智の滝は、日本三大名滝の1つで、他の2つは知らないけどね。133mの落差があって日本一なんだから。これがまた、周りの景色と重なってきれいなんだわ。



感動的な那智の滝

後ろ髪引かれる思いで、帰路に付く。途中、伊勢神宮でお参りをし、高速道路で帰る。休憩をはさんで12時間のドライブ。往復で約1200km。東北と紀伊半島へ行ったので、次はどこへ行こうかな？ 検討中。

熊野古道↓熊野那智大社↓那智の滝↓熊野古道と回って駐車場まで戻ると、だいたい3時間弱くらい。ほどよく疲れるけれど、ホテルに戻れば温泉入るから平気♪平気♪。

そうそう、肝心のマグロですが、那智勝浦の港は、生マグロの水揚げが日本一で知られています。お腹も回復したので、3日目は、カメの船に乗って勝浦漁港の周辺で、マグロを食べることにした。勝浦漁港にぎわい市場には複数の店舗が入っていて、お土産も買えて、にぎり寿司や海鮮丼などが食べられ、外には足湯もあって楽しめる。

美味しかった マグロ、でも…

次の日は、少し並んで、年季の入ったお店に入ってみた。かなり年配の主人とアジア系の女性が3人のお店。大丈夫かな？ と思ってたけれど、お勤めのマグロ定食1650円を注文。赤身と中トロの厚めのお刺身が7切れ、マグロの小鉢、お味噌汁、大盛ご飯（女性には小盛ご飯）が付く。美味しかった。店員が外国人なのはおそらく違和感があるけれど（しかも、おばさん3人）、観光で来ている外国人も多いので、英語が話せると便利なんです。

2店とも、大間のまぐろよりはるかに美味しい。けれど、三河島の大和水産には負けちゃうね。でも安かったからOK。